

平成25年度

城跡北部処理分区下水管渠布設工事（その2）

数 量 計 算 書

（開 削 工）

亀山市 建設部上下水道局下水道室

数 量 集 計 表

(補 助)

龜山市 建設部上下水道局下水道室

管 布 設 工 集 計 表

(補助)

名 称	種 別	細 別	単 位	数 量	設 計 数 量	備 考
硬質塩化ビニール管 布設工(人力)	φ 150		m	1,045.92	1,045	
硬質塩化ビニール管 布設工(人力)	φ 200		m	—		
硬質塩化ビニール管 布設工(人力)	φ 250		m	—		
硬質塩化ビニール管 布設工(人力)	φ 300		m	—		
硬質塩化ビニール管	φ 150 ゴム輪受口		本	247.0	247	
硬質塩化ビニール管	φ 150 プレーンエンド		本	14.5	15	
硬質塩化ビニール管	φ 200 ゴム輪受口		本	—		
硬質塩化ビニール管	φ 200 プレーンエンド		本	—		
硬質塩化ビニール管	φ 250 ゴム輪受口		本	—		
硬質塩化ビニール管	φ 250 プレーンエンド		本	—		
硬質塩化ビニール管	φ 300 ゴム輪受口		本	—		
硬質塩化ビニール管	φ 300 プレーンエンド		本	—		
マンホール継手工	φ 150	ゴム輪受口 可とう継手	個	69	69	
マンホール継手工	φ 200	ゴム輪受口 可とう継手	個	—		
マンホール継手工	φ 250	ゴム輪受口 可とう継手	個	—		
標識埋設シート			m	1,476.35	1,476	
砂基礎工			m ³	—		
砂基礎工			m ³	—		
砂基礎工			m ³	386.97	386	
砂基礎工			m ³	—		

圧送管材料集計表

(補助)

(664路線VP φ 100 L=240.04m) (667-6路線VP φ 75L=195.46m)

名 称	種 別	細 別	単 位	数 量	設 計 数 量	備 考
硬質塩化ビニール管	ゴム輪受口直管	L=5.0m VP φ 75	本	39	39	N=35(直管)+4(甲切管)=39本
硬質塩化ビニール管	ゴム輪受口直管	L=5.0m VP φ 100	本	48	48	N=38(直管)+10(甲切管)=48本
硬質塩化ビニール管継手	φ 75 45°		個	1	1	
硬質塩化ビニール管継手	φ 100 45°		個	11	11	
硬質塩化ビニール管継手	φ 75 22°	1/2ベント	個	3	3	
硬質塩化ビニール管継手	φ 100 22°	1/2ベント	個	7	7	
硬質塩化ビニール管継手	φ 75 11°	1/4ベント	個	5	5	
硬質塩化ビニール管継手	φ 100 11°	1/4ベント	個	1	1	
硬質塩化ビニール管継手	φ 75 5°	5/8ベント	個	1	1	
硬質塩化ビニール管継手	φ 100 5°	5/8ベント	個	2	2	
ソケット	φ 75		個	4	4	
ソケット	φ 100		個	8	8	
VP用離脱防止金具	φ 75用		個	18	18	
VP用離脱防止金具	φ 100用		個	34	34	
片フランジ曲管	80A×45°	SUS304-20S	個	1	1	
片フランジ直管	100A°	SUS304-20S	個	1	1	L=550
伸縮可とう管	両フランジ型	φ 75	個	1	1	L=350
伸縮可とう管	両フランジ型	φ 100	個	1	1	L=350
メカフランジ	φ 75		個	1	1	
メカフランジ	φ 100		個	1	1	
フランジ接手材	φ 75		個	2	2	
フランジ接手材	φ 100		個	2	2	
電線管	FEP φ 50		m	60.0	60	L=10.0m×3本×2箇所

土留工集計表

(補助)

名 称	種 別	細 別	単 位	数 量	設計数量	備 考
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=2.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=2.5m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=3.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=3.5m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=4.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=2.0m		m	92.73	92	
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=2.5m		m	684.60	684	
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=3.0m		m	93.63	93	
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=3.5m		m	74.41	74	
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=4.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=2.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=2.5m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=3.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=3.5m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=4.0m		m	—		
軽量金属支保材 設置撤去工	W=0.85m 3段		m	—		
軽量金属支保材 設置撤去工	W=0.85m 2段		m	631.72	631	
軽量金属支保材 設置撤去工	W=0.85m 1段		m	313.65	313	
素掘			m	133.13	133	

1号組立マンホール工 集計表

(補助)

名 称	種 別	細 別	単 位	数 量	設 計 数 量	備 考
マンホール蓋	T-25 亀山市型		組	—		
マンホール蓋	T-14 亀山市型		組	33	33	
調整モルタル	20mm～70mm		箇所	33	33	
調整リング	50mm		個	6	6	
調整リング	100mm		個	13	13	
調整リング	150mm		個	—		
斜壁ブロック	300mm		個	23	23	
斜壁ブロック	450mm		個	7	7	
斜壁ブロック	600mm		個	3	3	
直壁ブロック	300mm		個	1	1	
直壁ブロック	600mm		個	1	1	
直壁ブロック	900mm		個	2	2	
直壁ブロック	1200mm		個	1	1	
直壁ブロック	1500mm		個	—		
直壁ブロック	1800mm		個	—		
躯体ブロック	600mm		個	—		
躯体ブロック	900mm		個	5	5	
躯体ブロック	1200mm		個	3	3	
躯体ブロック	1500mm		個	5	5	
躯体ブロック	1800mm		個	20	20	
底版ブロック	h=130mm		個	33	33	
削孔工	φ100mm		箇所	4	4	
削孔工	φ150mm		箇所	36	36	
削孔工	φ200mm		箇所	—		

マンホールポンプ立坑(M664-1)数量計算書

ライナープレート立坑 φ2000

(1/3)

名 称	規 格	算 式	数 量
舗装復旧工			
舗装切断	As舗装版 t=4cm	$L= 2.560 + 3.000 + 2.540 \quad (\text{平均幅}2.55\text{m}) = 8.100$	8 m
	Co舗装版 t=10cm	$L= 0.440 + 3.000 + 0.460 \quad (\text{平均幅}0.45\text{m}) = 3.900$	4 m
舗装取壊し	As舗装版 t=4cm	$V= 3.000 \times 2.550 = 7.650$	8 m ²
	Co舗装版 t=10cm	$V= 3.000 \times 0.450 = 1.350$	1 m ²
表層(仮復旧)			
表層(仮復旧)	再生密粒度アスコン t=30mm	$A= 3.000 \times 3.000 - 1/4 \times \pi \times 1.140^2 = 7.979$	8 m ²
路盤			
路盤	RC-40 t=160	$A= 3.000 \times 3.000 - 1/4 \times \pi \times 1.140^2 = 7.979$	8 m ²
掘削工			
路面覆工部	覆工板部分	$V_{1A}= 3.000 \times 2.550 \times (0.200 - 0.040) = 1.224$	(既設As部分)
		$V_{1C}= 3.000 \times 0.450 \times (0.200 - 0.100) = 0.135$	(既設Co部分)
	ガイドコンクリート部分	$V_2= 3.000 \times 3.000 \times (0.500 + 0.400) = 8.100$	
		計 = 9.459	9 m ³
ライナープレート部			
ライナープレート部		$V= 1/4 \times \pi \times (2.000 + 0.180)^2 \times (4.263 - 0.700 - 0.400) = 11.806$	12 m ³
ライナープレート			
ライナープレート	φ2000 t=2.7mm	$W= 208 \text{ kg/m} \times 4.000 \div 1000 = 0.832$	0.83 t
設置・撤去	φ2000 L=1.000m	$W= 208 \text{ kg/m} \times 1.000 \div 1000 = 0.208$	0.21 t
存置	φ2000	$L= 3.000 = 3.000$	3 m
損料	φ2000 (取除分)	$N= 1.000 = 1.000$	1 式
ライナー掘削土留	φ2000 砂質土	$H= 4.000 = 4.000$	4 m
グラウト工		$V= 0.09\pi \times (2.000 + 0.090) \times 4.000 = 2.364$	2 m ³
鏡切り工	φ150	$L= 1.000 = 1.000$	1 m
ガイドコンクリート			
コンクリート	18-8-25BB	$V=(3.000 \times 3.000 - 1/4 \times \pi \times 2.000^2) \times 0.300 = 1.758$	1.76 m ³
型枠		$A=(3.000 + 3.000) \times 0.300 \times 2 = 3.600$	3.60 m ²
基礎碎石	RC-40 t=100mm	$A= 3.000 \times 3.000 - 1/4 \times \pi \times 2.000^2 = 5.858$	5.86 m ²

マンホールポンプ立坑(M664-1)数量計算書

ライナープレート立坑 φ2000

(2/3)

名 称	規 格	算 式	数 量
基礎工			
基礎碎石	RC-40 t=200mm	$A = 1/4 \times \pi \times 2.000^2 = 3.142$	3 m ²
埋戻し工			
埋戻し	発生土	$V = 8.100 + 1/4 \times \pi \times 2.000^2 \times 0.173 - 1.983 = 6.660$	7 m ³
控除	1.蓋、調整リング	$V1 = 1/4 \times \pi \times 1.140^2 \times 0.053 = 0.054$	
(2号レジンマンホール)	2.頂版	$V2 = 1/4 \times \pi \times 1.360^2 \times 0.130 = 0.189$	
	3.躯体	$V3 = 1/4 \times \pi \times 1.280^2 \times 0.890 = 1.145$	
	4.本管(φ100)	$V4 = 1/4 \times \pi \times 0.114^2 \times 0.860 = 0.009$	
(ガイトンコンクリート)	5.基礎碎石	$V5 = 5.858 \times 0.100 = 0.586$	
		控除合計 = 1.983	
流用土運搬	往路	$V = 6.660 / 0.9 = 7.400$	7 m ³
流用土運搬	復路	$V = 6.660 / 0.9 = 7.400$	7 m ³
積込工	流用土	$V = 7.400 = 7.400$	7 m ³
埋戻し	コンクリート(C-170)	$V = 1/4 \times \pi \times 2.000^2 \times 2.800 - 3.626 = 5.170$	5 m ³
控除	1.躯体	$V1 = 1/4 \times \pi \times 1.280^2 \times 2.710 = 3.487$	
(3号レジンマンホール)	2.底版、基礎Co	$V2 = 1/4 \times \pi \times 1.360^2 \times 0.090 = 0.131$	
	3.本管(φ150)	$V3 = 1/4 \times \pi \times 0.165^2 \times 0.360 = 0.008$	
		控除合計 = 3.626	
残土処分工			
掘削土量	路面覆工部	$V = 9.459 = 9.459$	
	ライナープレート部	$V = 11.806 = 11.806$	
		掘削土量合計 = 21.265	
路面覆工			
覆工板設置・撤去	B1.0m×L3.0m×H0.2m	$A = 3.000 \times 3.000 = 9.000$	9.00 m ²
覆工板重量	w=595kg/枚	$W = 595 \times 3 \div 1000 = 1.785$	1.785 t
受桁設置・撤去	H-250×250×9×14	$N = 1 = 1$	1 箇所
受桁重量	w=72.4kg/m	$W1 = 72.4 \times 3.000 \times 2 \div 1000 = 0.434$	
		$W2 = 72.4 \times 3.000 \times 2 \div 1000 = 0.434$	
		計 = 0.868	0.87 t
路面すりつけ工		$L = 3.000 \times 4.000 = 12.000$	12.00 m

マンホールポンプ立坑(M667-6-1)数量計算書

ライナープレート立坑 φ1500

(1/2)

名 称	規 格	算 式	数 量
舗装復旧工			
舗装切断	As舗装版 t=4cm	$L = 2.500 + 2.500 + 2.500 = 7.500$	8 m
舗装取壊し	As舗装版 t=4cm	$V = 2.500 \times 2.500 = 6.250$	6 m ²
表 層(仮復旧)	再生密粒度アスコン t=30mm	$A = 2.500 \times 2.500 - 1/4 \times \pi \times 1.140^2 = 5.229$	5 m ²
路 盤	RC-40 t=160	$A = 2.500 \times 2.500 - 1/4 \times \pi \times 1.140^2 = 5.229$	5 m ²
掘削工			
路面覆工部	覆工板部分	$V1 = 2.500 \times 2.500 \times (0.200 - 0.040) = 1.000$	
	覆工板部分	$V2 = 2.500 \times 2.500 \times 0.500 = 3.125$	
	ガイトコンクリート部分	$V3 = 2.500 \times 2.500 \times 0.400 = 2.500$	
		計 = 6.625	7 m ³
ライナープレート部		$V = 1/4 \times \pi \times (1.500 + 0.180)^2 \times (4.842 - 0.700 - 0.400) = 8.295$	8.30 m ³
ライナープレート			
ライナープレート	φ1500 t=2.7mm	$W = 162 \text{ kg/m} \times 4.500 \div 1000 = 0.729$	0.73 t
設置・撤去	φ1500 L=1.000m	$W = 162 \text{ kg/m} \times 1.000 \div 1000 = 0.162$	0.16 t
存置	φ1500	$L = 3.500$	3.50 m
損料	φ1500 (取除分)	$N = 1.000$	1 式
ライナー掘削土留	φ1500 砂質土	$H = 4.500$	4.50 m
グラウト工		$V = 0.09 \pi \times (1.500 + 0.090) \times 4.500 = 2.023$	2 m ³
鏡切り工	φ150	$L = 1.000$	1 m
ガイドコンクリート			
コンクリート	18-8-25BB	$V = (2.500 \times 2.500 - 1/4 \times \pi \times 1.500^2) \times 0.300 = 1.345$	1.35 m ³
型枠		$A = (2.500 + 2.500) \times 0.300 \times 2 = 3.000$	3.00 m ²
基礎碎石	RC-40 t=100mm	$A = 2.500 \times 2.500 - 1/4 \times \pi \times 1.500^2 = 4.483$	4.48 m ²
基礎工			
基礎碎石	RC-40 t=200mm	$A = 1/4 \times \pi \times 1.500^2 = 1.767$	2 m ²

マンホールポンプ立坑(M667-6-1)数量計算書

ライナープレート立坑 φ1500

(2/2)

名 称	規 格	算 式	数 量
埋戻し工			
埋戻し	発生土	$V = 2.500 \times 2.500 \times 1.100$ $+ 1/4 \times \pi \times 1.500^2 \times 0.242 - 2.142$	$= 5.161$ 5 m^3
控除	1.蓋、調整リング	$V1 = 1/4 \times \pi \times 1.140^2 \times 0.222$	$= 0.227$
(2号レジンマンホール)	2.頂版	$V2 = 1/4 \times \pi \times 1.360^2 \times 0.130$	$= 0.189$
	3.躯体	$V3 = 1/4 \times \pi \times 1.280^2 \times 0.990$	$= 1.274$
	4.本管(φ75)	$V4 = 1/4 \times \pi \times 0.089^2 \times 0.610$	$= 0.004$
(ガイトコンクリート)	5.基礎砕石	$V5 = 4.483 \times 0.100$	$= 0.448$
		控除合計 = 2.142	
流用土運搬	往 路	$V = 5.161 / 0.9$	$= 5.734$ 6 m^3
流用土運搬	復 路	$V = 5.161 / 0.9$	$= 5.734$ 6 m^3
積込工	流 用 土	$V = 5.734$	$= 5.734$ 6 m^3
埋戻し	コンクリート(C-170)	$V = 1/4 \times \pi \times 1.500^2 \times 3.300 - 4.264$	$= 1.568$ 2 m^3
控除	1.躯体	$V1 = 1/4 \times \pi \times 1.280^2 \times 3.210$	$= 4.131$
(2号レジンマンホール)	2.底版、基礎Co	$V2 = 1/4 \times \pi \times 1.360^2 \times 0.090$	$= 0.131$
	3.本管(φ150)	$V3 = 1/4 \times \pi \times 0.165^2 \times 0.110$	$= 0.002$
		控除合計 = 4.264	
残土処分工		$V = 14.92 - 5.16$	$= 9.76$ 10 m^3
掘削土量	路面覆工部	$V = 6.625$	$= 6.625$
	ライナープレート部	$V = 8.295$	$= 8.295$
		掘削土量合計 = 14.920	
路面覆工			
覆工板設置・撤去	B1.0m×L2.0m× H0.2m	$A = 2.000 \times 2.000$	$= 4.000$ 4.00 m^2
覆工板重量	w=382kg/体	$W = 382 \times 2 \div 1000$	$= 0.764$ 0.764 t
受桁設置・撤去	H-250×250×9×14	$N = 1$	$= 1$ 1 箇所
受桁重量	w=72.4kg/m	$W1 = 72.4 \times 2.050 \times 2 \div 1000$ $W2 = 72.4 \times 2.050 \times 2 \div 1000$	$= 0.297$ $= 0.297$
		計 = 0.594	0.59 t
路面すりつけ工		$L = 2.000 \times 4$	$= 8.000$ 8.00 m
コンクリート構造物取壊し			
無筋構造物	ガイトコンクリート	$V = 1.345$	$= 1.345$ 1 m^3
殻処分			
アスファルト		$V = 6.250 \times 0.040$	$= 0.250$ 0.25 m^3
無筋コンクリート		$V = 1.345$	$= 1.345$ 1 m^3
水路取除き・復旧			
JIS型水路	300A	$L = 2.500$	$= 2.500$ 3 m

汚水柵・取付管設置工 集計表

(補助)

名 称	種 別	細 別	単 位	数 量	設 計 数 量	備 考
汚水柵設置工	塩ビ製ます		箇所	23	23	
汚水柵設置工	鋳鉄製ます		箇所	41	41	
支管取付工	メカロック支管 90° MLV	塩ビ管用	箇所	62	62	
取付管工	管径 φ100mm	A1-2	箇所	2	2	
取付管工	管径 φ100mm	A1-3	箇所	—	—	
取付管工	管径 φ100mm	A1-4	箇所	2	2	
取付管工	管径 φ100mm	A2-2	箇所	3	3	
取付管工	管径 φ100mm	A2-3	箇所	4	4	
取付管工	管径 φ100mm	A2-4	箇所	7	7	
取付管工	管径 φ100mm	B1-2	箇所	2	2	
取付管工	管径 φ100mm	B1-3	箇所	2	2	
取付管工	管径 φ100mm	B1-4	箇所	5	5	
取付管工	管径 φ100mm	B2-2	箇所	2	2	
取付管工	管径 φ100mm	C1-3	箇所	—	—	
取付管工	管径 φ100mm	C2-2	箇所	1	1	
取付管工	管径 φ100mm	C2-3	箇所	13	13	
取付管工	管径 φ100mm	C2-4	箇所	11	11	
取付管工	管径 φ100mm	C2-5	箇所	2	2	
取付管工	管径 φ100mm	D1-2	箇所	7	7	
取付管工	管径 φ100mm	D2-5	箇所	1	1	

数量集計表

(効果促進)

龜山市 建設部上下水道局下水道室

管 布 設 工 集 計 表

(効果促進)

名 称	種 別	細 別	単 位	数 量	設 計 数 量	備 考
硬質塩化ビニール管 布設工(人力)	φ 150		m	334.86	334	
硬質塩化ビニール管 布設工(人力)	φ 200		m	—		
硬質塩化ビニール管 布設工(人力)	φ 250		m	—		
硬質塩化ビニール管 布設工(人力)	φ 300		m	—		
硬質塩化ビニール管	φ 150 ゴム輪受口		本	80.0	80	
硬質塩化ビニール管	φ 150 プレーンエンド		本	3.7	4	
硬質塩化ビニール管	φ 200 ゴム輪受口		本	—		
硬質塩化ビニール管	φ 200 プレーンエンド		本	—		
硬質塩化ビニール管	φ 250 ゴム輪受口		本	—		
硬質塩化ビニール管	φ 250 プレーンエンド		本	—		
硬質塩化ビニール管	φ 300 ゴム輪受口		本	—		
硬質塩化ビニール管	φ 300 プレーンエンド		本	—		
マンホール継手工	φ 150	ゴム輪受口 可とう継手	個	12	12	
マンホール継手工	φ 200	ゴム輪受口 可とう継手	個	—		
マンホール継手工	φ 250	ゴム輪受口 可とう継手	個	—		
標識埋設シート			m	333.51	333	
砂基礎工			m ³	—		
砂基礎工			m ³	—		
砂基礎工			m ³	97.77	97	
砂基礎工			m ³	—		

土留工集計表

(効果促進)

名 称	種 別	細 別	単 位	数 量	設計数量	備 考
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=2.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=2.5m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=3.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=3.5m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=4.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=2.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=2.5m		m	277.57	277	
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=3.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=3.5m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=4.0m		m	14.78	14	
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=2.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=2.5m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=3.0m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=3.5m		m	—		
軽量鋼矢板 設置撤去工	両側 H=4.0m		m	—		
軽量金属支保材 設置撤去工	W=0.85m 3段		m	—		
軽量金属支保材 設置撤去工	W=0.85m 2段		m	93.44	93	
軽量金属支保材 設置撤去工	W=0.85m 1段		m	198.91	198	
素掘			m	50.61	50	

1号組立マンホール工 集計表

(効果促進)

名 称	種 別	細 別	単 位	数 量	設 計 数 量	備 考
マンホール蓋	T-25 亀山市型		組	—		
マンホール蓋	T-14 亀山市型		組	9	9	
調整モルタル	20mm～70mm		箇所	9	9	
調整リング	50mm		個	2	2	
調整リング	100mm		個	2	2	
調整リング	150mm		個	—		
斜壁ブロック	300mm		個	4	4	
斜壁ブロック	450mm		個	5	5	
斜壁ブロック	600mm		個	—		
直壁ブロック	300mm		個	—		
直壁ブロック	600mm		個	—		
直壁ブロック	900mm		個	—		
直壁ブロック	1200mm		個	1	1	
直壁ブロック	1500mm		個	—		
直壁ブロック	1800mm		個	—		
躯体ブロック	600mm		個	—		
躯体ブロック	900mm		個	2	2	
躯体ブロック	1200mm		個	—		
躯体ブロック	1500mm		個	5	5	
躯体ブロック	1800mm		個	2	2	
底版ブロック	h=130mm		個	9	9	
削孔工	φ100mm		箇所	—		
削孔工	φ150mm		箇所	3	3	
削孔工	φ200mm		箇所	—		

汚水柵・取付管設置工 集計表

(効果促進)

名 称	種 別	細 別	単 位	数 量	設 計 数 量	備 考
汚水柵設置工	塩ビ製ます		箇所	11	11	
汚水柵設置工	鋳鉄製ます		箇所	12	12	
支管取付工	メカロック支管 90° MLV	塩ビ管用	箇所	22	22	
取付管工	管径 φ100mm	A1-2	箇所	—	—	
取付管工	管径 φ100mm	A1-3	箇所	2	2	
取付管工	管径 φ100mm	A1-4	箇所	—	—	
取付管工	管径 φ100mm	A2-2	箇所	—	—	
取付管工	管径 φ100mm	A2-3	箇所	1	1	
取付管工	管径 φ100mm	A2-4	箇所	2	2	
取付管工	管径 φ100mm	B1-2	箇所	1	1	
取付管工	管径 φ100mm	B1-3	箇所	—	—	
取付管工	管径 φ100mm	B1-4	箇所	—	—	
取付管工	管径 φ100mm	B2-2	箇所	4	4	
取付管工	管径 φ100mm	C1-3	箇所	1	1	
取付管工	管径 φ100mm	C2-2	箇所	—	—	
取付管工	管径 φ100mm	C2-3	箇所	2	2	
取付管工	管径 φ100mm	C2-4	箇所	5	5	
取付管工	管径 φ100mm	C2-5	箇所	4	4	
取付管工	管径 φ100mm	D1-2	箇所	1	1	
取付管工	管径 φ100mm	D2-5	箇所	—	—	

各種数量計算書

龜山市 建設部上下水道局下水道室

管路土工集計表

名 称	①	②	③	④	補助合計	①	②	③	④	効果促進合計
残土処分工					—					—
残土処分工					—					—
残土処分工	168.03	132.16	25.27	88.31	413.77	73.72	31.46			105.18
残土処分工					—					—
残塊処分工					—					—
残塊処分工					—					—
残塊処分工	20.45	15.61	2.60		38.66	8.63	3.64			12.27
残塊処分工					—					—
建設廢材処理費	20.45	15.61	2.60		38.66	8.63	3.64			12.27
流用土運搬(往路)										
流用土運搬(復路)										
流用土運搬(往路)	953.67	571.44	82.33	-88.31	1,519.13	374.78	110.44			485.22
流用土運搬(復路)	953.67	571.44	82.33	-88.31	1,519.13	374.78	110.44			485.22
流用土運搬(往路)										
流用土運搬(復路)										
積込工(流用)	953.67	571.44	82.33	-88.31	1,519.13	374.78	110.44			485.22
残塊処分工					—					—
残塊処分工					—					—
石棉管撤去積込工					—					—

管 布 設 工 集 計 表

名 称	①	②	③	④	補助合計	①	②	③	④	効果促進合計
硬質塩化ビニール管 布設工(人力)	556.10	419.34	70.48		1045.92	236.48	98.38			334.86
硬質塩化ビニール管 布設工(人力)					—					—
硬質塩化ビニール管 布設工(人力)					—					—
硬質塩化ビニール管 布設工(人力)					—					—
硬質塩化ビニール管	536.00	384.00	68.00		247.00	228.00	92.00			80.00
硬質塩化ビニール管	20.10	35.34	2.48		14.48	8.48	6.38			3.72
硬質塩化ビニール管					—					—
硬質塩化ビニール管					—					—
硬質塩化ビニール管					—					—
硬質塩化ビニール管					—					—
硬質塩化ビニール管					—					—
硬質塩化ビニール管					—					—
マンホール継手工	27	30	12		69	12				12
マンホール継手工					—					—
マンホール継手工					—					—
標識埋設シート	554.10	416.47	70.18	435.60	1476.35	235.88	97.63			333.51
砂基礎工					—					—
砂基礎工					—					—
砂基礎工	170.16	115.77	21.56	79.48	386.97	72.45	25.32			97.77
砂基礎工					—					—

土留工集計表

名 称	①	②	③	④	補助合計	①	②	③	④	効果促進合計
軽量鋼矢板 設置撤去工					—					—
軽量鋼矢板 設置撤去工					—					—
軽量鋼矢板 設置撤去工					—					—
軽量鋼矢板 設置撤去工					—					—
軽量鋼矢板 設置撤去工					—					—
軽量鋼矢板 設置撤去工					—					—
軽量鋼矢板 設置撤去工		20.45	72.28		92.73					—
軽量鋼矢板 設置撤去工	415.57	269.03			684.60	225.30	52.27			277.57
軽量鋼矢板 設置撤去工	79.73	13.90			93.63					—
軽量鋼矢板 設置撤去工	72.80	1.61			74.41					—
軽量鋼矢板 設置撤去工					—	14.78				14.78
軽量鋼矢板 設置撤去工					—					—
軽量鋼矢板 設置撤去工					—					—
軽量鋼矢板 設置撤去工					—					—
軽量鋼矢板 設置撤去工					—					—
軽量鋼矢板 設置撤去工					—					—
軽量鋼矢板 設置撤去工					—					—
軽量金属支保材 設置撤去工					—					—
軽量金属支保材 設置撤去工	377.52	254.20			631.72	93.44				93.44
軽量金属支保材 設置撤去工	190.58	50.79	72.28		313.65	146.64	52.27			198.91
素掘		133.1			133.13		50.61			50.61

1号組立マンホール工 集 計 表

名 称	①	②	③	④	補助合計	①	②	③	④	効果促進合計
マンホール蓋					—					—
マンホール蓋	12	15	6		33	9				9
調整モルタル	12	15	6		33	9				9
調整リング	1	4	1		6	2				2
調整リング	6	3	4		13	2				2
調整リング					—					—
斜壁ブロック	8	10	5		23	4				4
斜壁ブロック	3	3	1		7	5				5
斜壁ブロック	1	2			3					—
直壁ブロック	1				1					—
直壁ブロック	1				1					—
直壁ブロック	1	1			2					—
直壁ブロック	1				1	1				1
直壁ブロック					—					—
直壁ブロック					—					—
躯体ブロック					—					—
躯体ブロック		2	3		5	2				2
躯体ブロック			3		3					—
躯体ブロック	3	2			5	5				5
躯体ブロック	9	11			20	2				2
底版ブロック	12	15	6		33	9				9
削孔工	2	2			4					—
削孔工	15	15	6		36	3				3
削孔工					—					—

1号組立マンホール工 集計表

名 称	①	②	③	④	補助合計	①	②	③	④	効果促進合計
削孔工					-					-
底部工	12	15	6		33	9				9
底部工					-					-
底部工			1		1					-
ブロック据付工	11	14	6		31	8				8
ブロック据付工	1	1			2	1				1
同径支管					-					-
副管取付工	2				2					-
副管取付工	2				2					-

各種計算書

カッター汚泥量算出表(補助)

・発生汚泥量

アスファルト舗装版厚 $t \leq 15\text{cm}$

施工量

2157 m

×

舗装厚さ

0.04 m

×

0.02

=

1.98

m³

合計

1.98 m³

各種計算書

カッター汚泥量算出表(効果促進)

・発生汚泥量

アスファルト舗装版厚 $t \leq 15\text{cm}$

施工量

685 m ×

舗装厚さ

0.04 m ×

0.02 = 0.63 m³

合計

0.63 m³

各種計算法

管内調査

【基幹】

• M665-2 ~ M665-3	L=	83.3	m
• M663-1 ~ M662-1	L=	92.1	m
• M662-4 ~ M662-2-1	L=	53.2	m

• M661-1-1 ~ M661-3-1

L= 65.1 m

• M661-3-1 ~ M661-1-1

L= 60.9 m

合計

ΣL= 354.7 m

各種計算法

管内調査

【効果促進】

• M661-3-1 ~ M661-2-1	L=	78.7	m
• M661-1-1 ~ M661-1-2	L=	88.2	m
• M661-4-1 ~ M661-4-2	L=	58.5	m

合計

$\Sigma L = 225.3$ m